学校だより第４０号

ＴＥＡＭさくらまち

令和８年９月１４日

自ら学び　自ら考え　自ら行う

長崎市立桜町小学校　校長　片岡 勝志

修学旅行

９月３日・４日、６年生が待ちに待った修学旅行へ出発しました。行き先は、雄大な自然と温かい人々に包まれた熊本・阿蘇。子供たちはたくさんの宝物を見つけて帰ってきました。（画像提供；タシロフォートスタジオ）



＜１日目＞阿蘇の自然や人々と触れ合う

１　阿蘇ミルク牧場

長崎から休憩を入れ約３時間半のバスの旅を経て着いた最初の訪問地。ここは昼食会場、自然食バイキング。



２　あそ望の郷くぎの

南阿蘇村にある道の駅。物産販売所や食事処、ドッグランなどがあり、阿蘇五岳の雄大な眺めも楽しめる場所。**「あそんもんツーリズム（阿蘇の方々と、阿蘇でしかできない体験活動）」**の出発地点。



① くぎの工房（木工家具）

漆の話を聞いた後、鑿（のみ）や鉋（かんな）などの道具や機械の使い方を学び、木工作品「鉛筆立て」を作りました。

② 草木染（草木染工房）

草木染で世界に一つだけの作品づくり。 布を染める工程に夢中になり、それぞれが個性豊かな記念品を作り上げました。



③ あか牛の話　そば打ち体験（あそ望の郷くぎの）

あか牛の話やあか牛の試食、そば打ち体験などをしました。芝生や湧き水などゆっくり自然を楽しみました。

④ 押し花（りんどうの花房）

押し花を使って、オリジナルの手帳や栞を作りました。

⑤ 缶バッジ（白水郷アートプレイス）

南阿蘇の水のイメージを「ぼかし絵」で表現し、缶バッジにしました。

⑥ 気象教室

雲の種類と天気の移り変わりについて学習しました。庭に出ていくつかのゲームをしたり、おいしいタコスをいただいたりしました。



３　プラザホテル（阿蘇市内牧）









＜２日目＞阿蘇の大地で心と体を動かす

１　エルパティオ牧場

馬と心を通わせるエルパティオ牧場。馬の生態を学び、大きな馬の背中に乗る体験をしました。最

初は緊張していた子供たちも、馬の温かさに触れ、笑顔があふれました。






２　トロッコ列車（南阿蘇鉄道）

列車からは、６０m真下を流れる白川の絶景、暗いトンネルを抜けると目前に広がる南阿蘇カルデラの田園風景に感動しました。阿蘇の大自然を五感で感じました。

３　阿蘇ファームランド　　昼食会場。バイキング。

雄大な阿蘇の自然に触れたり、南阿蘇の皆さんと触れ合い、阿蘇でしかできない貴重な体験をさせていただいたりして、多くの事を感じたり、仲間とのかけがえのない思い出をつくったりすることができたようです。また、友達とお土産を買ったり、お風呂に入ったり、寝食を共にしたりといったホテルで過ごした時間も楽しい思い出となりました。旅行後の感想の一部を紹介します。

私は、修学旅行で友達と協力できる自分になったと思います。活動班では、班長がいなかった時の点呼を班でしたり、ホテルでは、みんなで荷物の確認をしたり、一人では難しいことをたくさん協力しました。そして、さくらまち習慣もたくさん実践することができました。挨拶やお礼を言ったり、ホテルの中では走らないようにしたり、他にもたくさん実践しました。また、あそんもんツーリズムでは、「気象教室」というあそんもんに行きました。自分が知らないことをたくさん知れて、すごく勉強にも役立つし、とてもいい体験ができたなと感じました。これからも、小体会や桜っ子くんちなど友達と協力する機会がたくさんあると思います。その時に、この修学旅行で学んだこと、体験したことを生かしたいです。（１組児童）

修学旅行を通じて、あそんもんツーリズムの方々や、ホテルの方々、エルパティオ牧場の方々など、たくさんの人に感謝（「ありがとうございます」など）を言えたと思います。あそんもんツーリズムでは、初めてのそば打ち体験と初めて食べる赤牛の試食などをさせてもらい、初めての体験がたくさんできました。エルパティオ牧場では大雨だったけれど馬に乗ったり牧場で働いている人が毎日どんなことをしているのかなどを体験しました。今回の修学旅行ではたくさんの所で感謝をしたと思います。この経験を生かして、残りの小学校生活と中学校でも頑張りたいなと思いました。（２組児童）

この修学旅行でぼくはいろいろなことを体験し、挑戦しました。そして改めて友達と協力し助け合うことの楽しさや大切さが分かりました。自分は阿蘇プラザホテルの最初の挨拶をしました。みんなの前でしゃべるのは緊張したけど、上手くしゃべることができました。大観峰には行くことができなかったけど、エルパティオ牧場の乗馬、馬にえさやり、馬の生態やトロッコ列車で見た阿蘇の景色など、ふだん長崎で見ることはできない阿蘇の自然にふれあうことができてとても楽しかったです。６年生は小体会、桜っこくんちなどの行事があるので、修学旅行での協力して助け合うことの大切さなどを生かして頑張りたいと思います。（３組児童）

２日間の旅を通して、子供たちは、雄大な自然に触れ、阿蘇の温かい人々と交流することで、多くのことを感じ、学びました。友達と力を合わせ、支え合いながら過ごした時間は、かけがえのない宝物となったことでしょう。この修学旅行で得た学びと絆を胸に、６年生はさらなる成長を見せてくれると確信しています。

最後に、今回の修学旅行を支えてくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。子供たちに温かく声をかけてくださった阿蘇の皆さん、安全な旅を支えてくださったバス会社の皆様、そして何より、体調管理や準備にご尽力いただいた保護者の皆様のおかげで、充実の２日間を過ごすことができました。ありがとうございました。